TESCO顧客戦略 Loyalty Marketing

ジェリコ・コンサルティング 代表取締役社長 荒川 圭基 www.jericho-group.co.jp

2003年現在店舗数…

英国	1982店
アイルランド	7.7店
ハンガリー	53店
ポーランド	66店
チェコ共和国	17店
スロバキア	17店
タイ	5 2店
韓国	2.1店
台湾	3店
マレーシア	3店
計	2291店

TESCOの歴史・・・・ 創業時のコンセプト;哲学"高く積んで安く売る 1931年創立 1956年 初のスーパーマーケット 1961年 スーパーマーケットに参入

2003年 4兆5000億円 営業利益3000億円

本社所在地;英国 ハートフォードシャー チェスナット

テスコ ロイヤルティマーケティングの定義

それは、戦術ではなく"戦略" 戦略として導入(全社的な取組)

シカゴマフィア会議のような雰囲気、 中止するかしないか口論(ファイトになった)

より購買を刺激する一面的な販促ではないグリーンスタンプ(1997年中止)

購買行動、消費態度を変更する戦略である 顧客の購買行動に接近する!

したがって、顧客の購買データを細かく分析し、 顧客別に購買行動、消費態度を理解する 「顧客個人別買物データの分析」 ここが通常のFSP取組と異なる。

1993年スタート前;調査(リサーチ)

調査、開発に2億円予算計上

米国を徹底的に調査、ヒヤリング

米国は参考にならないと判断(米国会員価格制)

TESCO 独自のコンセプト、数ヶ月、討論

会員価格ではない;一時的なもの カタリナマーケティングの商品クーポンではない 継続的な購入促進;ロイヤルティマーケティング選考 Sainsbury'sの猿真似じゃない

1993年スタート前;トップ結論

何が成功し、何が失敗か? リサーチ

結論「顧客にアピールしなければ 失敗する」 カードのブランド構築が重要!

> 殆どの企業は、カードのブランド化に失敗 顧客の認知が低い。

殆どの企業は、会員購買データを利用していない ことに気付いた。

テスコクラブカードの始まり

1993年/3月 3店舗実験開始

1994年/11月 11店舗に拡大 その後14店舗に

1995年 2月13日 全店導入、無言の役員会決定 ビッグアドベンチャー!

初のダイレクトメールキャンペーン

1994年/9月 会員カード開始から10ヵ月後 10万件ダイレクトメール ターゲットベース 30ポンド(6000円)購入で3ポンド(600円)値引き、 低金額購入者には10ポンド購入で1ポンド値引き というシンプルなもの

反応率 70%

売上アップ効果 DM発送顧客の売上アップ率;4% 結果 7%アップ

役員会「無言の驚き」

1994年/11月22日 会員買上データ 反応率(レスポンス結果) 調査結果のレポートに 役員、真剣な眼差し、そして無言・・・・

MacLaurm "30年かかって知った以上のことをたった3ヶ月 で知った"

当時、600店、全店導入が決定された。

1995年2月13日「Because we can!」

1995年2月13日 TESCO 歴史的な日 全店600店 テスコクラブカード導入

"われわれは、これをやらねばならない・・・ われわれはできるのだから"

準備; "SPEED" カード 電話(テレマーケティング) 申込書フォーム テレビ広告 スタッフ説明会

開始2週間後;会員700万人

1995年5月14日。 大量DM

500万通のダイレクトメール "First Quaterly Mailing" 年4回の封書ダイレクトメール・プログラム(現在も実施) 過去の20倍のDM *年4回のクリスマス

1400万ポンド(28億円)バウチャーを発送 (1店舗平均約470万円、年間1880万円) 一人当り100ポンド(2万円) 150ポイント(3ヶ月15万円以上)以上のクラブ会員 2003年現在;100億円バウチャーを発送

結果 1780万ポンド、バウチャー利用40%

バウチャー・プログラム

5 ポンド(1000円)ごとに1ポイント 1 ポイント5ペニー(1%)

10ポンド(2000円)購入しないとポイント資格なし但し、学生など除く

50ポイント 2.5ポンド(500円)バウチャー 100ポイント 5ポンドバウチャー 150ポイント 7.5ポンドバウチャー

年4回定期DMプログラムの理由(1)

顧客は皆同じように反応するだろうか?・・・・ そのようなことはない! 伝統的な販促は、同じように反応するという仮定に基づいている

顧客が違えば、それぞれニーズは異なる

不必要な情報を不特定に提供しているのは浪費である

バナナ;すべての人にディスカウントを与えている しかし、積極的にディスカウントを求めていない多くのお客がいる その顧客を知らない多くの小売業は金を浪費している

年4回定期DMプログラムの理由(2)・・・

ノンターゲット広告・・・・

間違った顧客に間違ったオファーを訴求 通常価格で購入する来店頻度の高い顧客に期待していない値引き もっと利益を上げられるのに利益を下げている 短期効果はあるが継続効果はない ノンターゲット(不特定多数)販促費の浪費

ターゲット広告(ダイレクトメール) プライスに敏感なターゲットをグループ化 彼らが購入するアイテムを選定(ポピュラー定番アイテム) 彼らに、ディスカウント価格でDM案内

ターゲットDMは、経済的且つ効果的なマスアピール 世界で最も成功しているダイレクトメール

ぼんやり迫る恐怖「戦う戦略として目標設定」

ゼロサム ゲーム;喰うか喰われるか
Sainsbury's クラブカード(1993年ナンバーワンシェア)
Asda ウォルマート買収 EDLP
Safeway ABCクラブカード

開始1年後のマーケット・リサーチ 「テスコでの買い物28%増やし、Sainsbury'sの買い物 16%減らした」

マーケットシェア推移

1995年 1月 2月	3月 4月 5月	
Sainsbury's 19.4 19.0	19.1 18.7 18.8	
Tesco 18.1 18.5	19.2 19.9 19.4	

逆転! カード導入2/13

TESCOロイヤルティ・マーケティングの目的

カスタマーシェアアップ

<u>購買行動を変えさせる</u>;来店回数、バスケット単価 消費態度を変えさせる;購買アイテム

ライフタイムバリューのアップ

独占ができないが、できるだけ長く購入していただく 継続購入 離反防止

目的追求のための顧客分析 who、when、why、what、how これまで、what しか見ていなかった

データ(Too much data)戦略的活用

大量の明細データ Sainsbury'sはやらない 1000万会員 一人当り週40アイテム購入 5000万ショッピングトリップ(3ヶ月) 20億件アイテム 月間16億件明細データ

分析に30時間かかった 過去は、商品ベースのみ この時から who、when、why、what,howを追跡 世界でもっとも複雑なデータベース・・・

"購買行動"洞察、"顧客プロファイル"洞察実現

10%サンプルデータでまずは分析開始

10%データ分析・・・・

80-20の法則の存在

```
dumhumby(ダンハンビー)社~データ分析会社設立
25人のスタッフ
いろいろ壁にぶち当たりながら分析・・・
65~75%の売上は、25~40%の顧客で実現
ロイヤル的の測定???・・・・
RFV分析
データマート(多次元分析);アクションにならない?
ライフステージ(学生、ヤングアダルト、ニューファミリーなど8グループ)トップ100人買上高は、ボトム4000人分
```

1%購買データ抽出して分析 ビッグチャレンジ!

ショッピングパターン分析・・・・ 15部門、4万5000アイテムから何がもっともアピールするか 同じ商品でも、顧客によって、使われ方が違っている

バスケットから80つのバケツへ・・・what分析 1%データ抽出、8500アイテムから 3600万通りのペアをつくり、 80のバケツにし、購買の組み合わせをパターン化

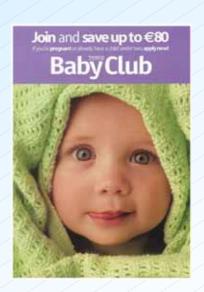
クラスター分析(統計手法)から・・・why分析80のバケツと27のライフスタイル

2つから12万通りのクーポンパターンを作成

クラブカード「慎重に、且つ戦略的に取り入れる」

クラブ;エモーショナル・ブランド

テスコのクラブカード・・・・
ベビークラブ;ポテンシャルがあるのに・・・、
Bootsにとられている
トドラークラブ;
キッズクラブ;
ワールド・オブ・ワインクラブ;
ヘルシー・リビングクラブ;



クラブカード発行の目的と戦略が重要・・・ 常にベストなオファーを考える! 例えば、ワインクラブ会員の興味は新ブランドのテイストであり、 購入している商品の追加購買ではない。

プログラムのスローガン

SAVEではなく、

Thank you特典

Every little helped すべてに、小さな手助け

TESCO成功の条件

- (1)勢い!はずみをつける
- (2)単純化;シンプル追求 わかりやすいこと
- (3)コントロール;すべてをコントロール
- (4)インボルメント;全社、全従業員巻き込む
- (5)準備;実験、実験、議論、議論、議論
- (6)野心;挑戦!
- (7)コミットメント(公約);全役員の理解

TESCO 顧客戦略から要点!

経営政策・・・顧客政策の導入決意 ロイヤルティ・マーケティング セグメント・マーケティング ターゲット・マーケティング ポジショニング

ロイヤルティ・マーケティング導入

カスタマーシェア;家計の食料支出の何%獲得できているか ライフタイムバリュー追求;100万円購入10年で1000万円

目的追求のための顧客分析

who、when、why、what、howでマーチャンダイジング 自社の顧客ターゲット設定 ターゲット別ライフスタイル分析;研究とデータ活用

データ分析概念

仕組み;明細データ記録、最低2年分保管 現状ホストコンピュータ、大型DWHから 超高速エンジン採用 短期開発、超高速、フレキシブル

データ活用概念

総合RFM、カテゴリーRFM、集合演算デシル顧客別購入単品クロス分析ライフスタイル顧客抽出顧客識別マーチャンダイジング方針プロモーション顧客抽出、結果分析